



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 石原薬品株式会社

コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹森 莞爾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浅野 真司

TEL 078-681-4801

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,994	11.5	634	△15.3	675	△12.9	379	75.2
23年3月期第3四半期	10,753	11.6	748	88.2	775	78.0	216	△10.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	50.94	—
23年3月期第3四半期	31.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,326	13,265	76.6
23年3月期	16,947	13,318	78.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,265百万円 23年3月期 13,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	8.4	650	△29.6	700	△26.0	450	△1.8	60.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	7,460,440 株	23年3月期	7,460,440 株
24年3月期3Q	256 株	23年3月期	91 株
24年3月期3Q	7,460,241 株	23年3月期3Q	6,936,353 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の落ち込みから回復が進み、外需の持ち直し傾向も見られましたが、円高の長期化、欧州経済危機や中国経済の減速に加え、タイの洪水による生産への影響など先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、電子関連分野の金属表面処理剤を中心に需要の伸びを示しました。この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高11,994百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益634百万円（前年同四半期比15.3%減）、経常利益675百万円（前年同四半期比12.9%減）、四半期純利益は379百万円（前年同四半期比75.2%増）となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

(セグメント別の売上高)

(百万円未満切捨表示)

セグメント		前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減	平成23年3月期
金属表面処理剤 及び機器等	製品	3,378	2,798	△580	4,432
	商品	1,636	3,650	2,014	2,337
計		5,015	6,449	1,433	6,769
電子材料	製品	258	242	△16	350
	商品	994	775	△218	1,143
計		1,252	1,018	△234	1,493
電子関連分野計		6,268	7,467	1,199	8,263
自動車用化学製品等	製品	823	942	118	1,071
	商品	394	304	△89	508
計		1,217	1,246	29	1,579
工業薬品	製品	167	188	20	229
	商品	3,099	3,091	△7	4,136
計		3,267	3,280	13	4,366
総計		10,753	11,994	1,241	14,209
内訳	製品	4,628	4,171	△457	6,082
	商品	6,124	7,822	1,698	8,126

(セグメント別の業績の概要)

(電子関連分野)

電子関連分野が対応する電子部品業界は、薄型テレビの需要急減、パソコン出荷の低迷の中、スマートフォン、タブレット端末など携帯機器が需要を牽引する状況となっております。一方、タイの洪水からの復旧の長期化や欧州経済危機の波及に対する警戒感も広がっております。

## ①金属表面処理剤及び機器等

金属表面処理剤の国内市場は、震災からの復旧でユーザーの生産が回復してきましたが、海外工場への生産移管等もあり、めっき液の需要は震災前水準まで戻っていない状況にあります。このような中、薄型テレビ、パソコン需要の低迷による半導体、チップ部品向けのめっき液の需要は低迷しており、タイの洪水関連で生産再開が出来ないユーザーもあり、対応するめっき液の需要は、国

内、海外ともに低迷しました。しかし、シリコンウエハーバンプ用めっき液は、スマートフォン、タブレット端末などの携帯機器の需要の伸びに連動し、台湾・韓国ユーザー向けに大きく需要を伸ばしました。化成処理液自動管理装置は、海外を中心にプリント基板、タッチパネル等スマートフォン関連の生産工程に多く採用され受注を伸ばしました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、6,449百万円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

#### ②電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産減により需要は低調に推移しました。機能材料加工品は、前半、半導体製造装置業界向けの部品需要により増加しましたが、液晶製造装置関連の需要は全般に低迷しました。この結果、電子材料の売上高は、1,018百万円（前年同四半期比18.7%減）となりました。

#### (自動車用品分野)

##### 自動車用化学製品等

自動車用品分野は、ガソリンスタンドの統廃合によるスタンドの減少、事故率低下、補修に対する価値観の変化等で自動車ケミカル品の市場規模の縮小傾向が続いておりますが、エアコンフィルター交換作業に合わせたエアコン洗浄の同時施工ビジネスの提案・促進により取り組むディーラーが増え、エアコン洗浄剤の販売が伸びました。また、補修用コンパウンド新製品も伸びました。この結果、売上高は、1,246百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

#### (工業薬品分野)

##### 工業薬品

工業薬品分野は、鉄鋼関連において中国・アセアン向けに好調であった特殊鋼、高級鋼の需要は、アジア経済の減速や供給過剰等により陰りを見せ始め、コストダウン目的の薬剤の使用量削減の動きも出てまいりました。一方、化学関連は、塩ビ触媒の海外向けが円高で低迷しました。この結果、売上高は、3,280百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

#### (2) 業績予想に関する定性的情報

景気の先行きは、東日本大震災からの復興のペース、欧州債務危機による海外経済の減速懸念、円高の長期化、株価の低迷など不確定要因を抱え不透明な状況にあります。このような環境下、平成24年3月期通期の業績予想につきましては、これらの状況と最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月28日に公表いたしました数値を据え置いております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,145,687	3,790,053
受取手形及び売掛金	3,525,164	3,872,291
有価証券	70,154	2,826
商品及び製品	547,025	460,808
仕掛品	50,011	46,365
原材料及び貯蔵品	487,594	494,455
その他	154,353	126,057
貸倒引当金	△352	△387
流動資産合計	8,979,638	8,792,470
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,659,591	1,605,901
その他(純額)	939,782	1,080,993
有形固定資産合計	2,599,373	2,686,894
無形固定資産		
投資その他の資産	42,649	44,449
投資有価証券	3,920,727	4,357,528
その他	1,408,764	1,447,577
貸倒引当金	△4,089	△2,213
投資その他の資産合計	5,325,402	5,802,891
固定資産合計	7,967,425	8,534,235
資産合計	16,947,064	17,326,706
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,560,085	2,587,264
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	24,000	14,000
未払法人税等	84,912	148,028
賞与引当金	149,277	73,600
役員賞与引当金	22,600	16,950
その他	260,445	406,230
流動負債合計	3,101,321	3,546,074
固定負債		
長期借入金	8,000	—
退職給付引当金	104,515	57,274
役員退職慰労引当金	233,388	251,371
資産除去債務	38,512	38,512
その他	142,563	167,774
固定負債合計	526,980	514,933
負債合計	3,628,301	4,061,007

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	10,357,183	10,476,068
自己株式	△85	△259
株主資本合計	13,546,289	13,664,999
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△227,526	△399,300
評価・換算差額等合計	△227,526	△399,300
純資産合計	13,318,762	13,265,698
負債純資産合計	16,947,064	17,326,706



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,753,066	11,994,553
売上原価	7,826,242	9,072,875
売上総利益	2,926,823	2,921,678
販売費及び一般管理費		
販売促進費	36,431	31,578
運賃及び荷造費	194,313	203,163
旅費及び交通費	115,416	114,833
報酬給与手当及び賞与	567,187	555,207
賞与引当金繰入額	37,669	39,388
役員賞与引当金繰入額	16,950	16,950
退職給付引当金繰入額	16,589	16,171
役員退職慰労引当金繰入額	17,985	17,983
福利厚生費	136,474	142,302
研究開発費	612,820	656,294
減価償却費	64,857	63,976
貸倒引当金繰入額	24	34
その他	361,565	429,444
販売費及び一般管理費合計	2,178,285	2,287,330
営業利益	748,538	634,348
営業外収益		
受取利息	1,950	1,561
有価証券利息	23,617	25,333
受取配当金	25,426	30,435
その他	20,653	17,606
営業外収益合計	71,648	74,936
営業外費用		
支払利息	1,558	1,224
有価証券売却損	—	343
売上割引	1,357	1,545
為替差損	29,066	16,581
コミットメントフィー	11,050	11,053
その他	1,541	2,667
営業外費用合計	44,574	33,416
経常利益	775,612	675,868

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	67
貸倒引当金戻入額	232	—
特別利益合計	232	67
特別損失		
固定資産売却損	135	0
固定資産除却損	3,029	5,184
投資有価証券評価損	253,679	43,105
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,512	—
その他	—	10
特別損失合計	295,357	48,299
税引前四半期純利益	480,487	627,636
法人税等	263,643	247,640
四半期純利益	216,843	379,995

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。